

## 景観まちづくり情報シート(受託事業)

活動団体名	社団法人静岡県建築士会 景観整備機構
受託事業名	<地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業> 地域の伝統文化の理解・普及・発展を目指した歴史的建造物の保全・活用策提案事業及び発表会
受託先	文化庁
事業年度	平成 23 年度 (事業費：1,100 千円)

### 事業の概要

文化庁の平成 23 年度「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の助成採択を受けた(社)日本建築士会連合会が「地域の伝統文化の理解・普及・発展を目指した歴史的建造物の保全・活用策提案事業及び発表会」として静岡県、神奈川県、兵庫県の 3 建築士会に事業を業務発注した。

### ○目的

静岡県内の特定地域内の地域の伝統文化を活かした文化的価値のある歴史的建造物の詳細建物調査や保全・活用策の提案事業活動を行い、発表会を開催することを目的とする。

### ○内容と方法

掛川市横須賀地域において核となりうる歴史的建造物（八百甚、愛宕下美術館、清水家住宅、池田屋酒店）を取りあげ、群として保全・活用する方法を検討した調査事業と、富士市本町の加藤酒店を取り上げ、店舗として利用することを計画の方針とした調査事業を実施した。と同時に「保全・活用策提案の発表会」を開催した。



八百甚



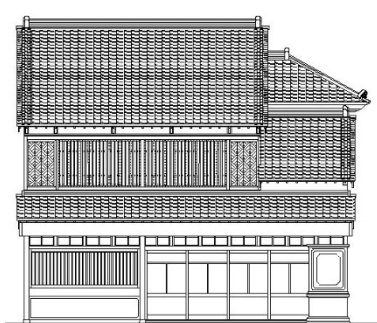
愛宕下美術館



清水家住宅



池田屋酒店



加藤酒店 東側立面図



北側立面図

竣工：昭和 6 年
構造：木造 2 階建て
用途：住宅兼用店舗
屋根：日本瓦葺き
外壁：トタン張り
床面積：
1 階 142.67 m <sup>2</sup>
2 階 105.48 m <sup>2</sup>
合計 248.15 m <sup>2</sup>

### ○町並み保全・活用のポイント

「ちっちゃな文化展」による、町家、空き家、空地の活用により、住民の人達が横須賀の町を見直し自分たちの町の素晴らしさ、誇れる町ということ再認識することができた。そのことにより自主的に、景観を意識した新築、改修の建築が増えてきた。「横須賀倶楽部」では、空き家、空地などに作品を置き「通年ギャラリー」への取り組みも始めている。

行政による景観計画の策定により、景観を誘導するゆるい申し合せや、建替え、改修時の助成の実施。町には一人暮らしの老人なども多く、隣近所の付き合いを大切に、横須賀らしいコミュニティスケール、防災計画を考慮した町づくりへの後押しが期待される。

横須賀の町並みを考えるとき、伝統的な祭りとの関係は外すことは考えられない。住民に町並みを保存活用する意義、必要性を情報発信し、町並み及び周囲の景観に対する意識の向上を図っていく。

**「100人が1回訪れる町より、1人が100回訪れてくれる魅力ある町になるように。」**